

実態調査の実施

審査側実務実態調査

資料6-1

○審査側実務の実態調査

①全行政庁・機関にアンケート

- ・分野別審査体制の現状
- ・確認検査、仮使用承認、取消権行使件数

②行政庁・機関を対象に実態ヒアリング

- ・審査困難な分野
- ・大臣認定・型式認定案件の審査実態
- ・指摘等問題が多い分野、具体的内容
- ・仮使用承認・消防協議実態含む具体的な審査プロセス
- ・違反発見時の是正対応状況
- ・機関別の行政経由等特別な運用の実態

(2～3月:アンケート・ヒアリング・データ分析)

報告

定期調査報告実態調査

資料6-2

○定期調査報告実態

- ・行政庁・地域法人アンケート、検査実施者ヒアリング、報告書のサンプル調査(数百抽出し分析)を実施(～3月)

報告

設計・工事監理等供給側実務実態調査

資料6-3

○設計・工事監理等供給側実務実態調査

①組織・業務形態別の分布等全般的状況関連データ整理

②処分対象の業態(設計・施工一括又は分離等)分析

③建築士事務所を対象に業務実態ヒアリング

- ・設計図書作成プロセス(分野間整合、外注内容、審査側からの指摘内容)
- ・計画変更対応(設計変更前提の事項、変更時の対応等)
- ・工事監理実態(常駐、巡回、外注等)

④住宅瑕疵担保責任保険法人ヒアリング

- ・審査検査特例対象となる4号建築物における不適合状況

⑤建築系学科教育、業界団体等による職能教育の概況整理

(～7月実施・データ整理)

報告

勉強会審議事項(素案)

H23年2月2日(第1回)

【検討事項・進め方の確認】

- ・建築法体系の現状
- ・関連データ・指摘事項等
- ・実態調査実施計画

3月30日(第2回)

【委員意見表明】

- ・建築物の質の捉え方、建築規制、資格制度、質の向上関連施策等に係る委員の意見表明

5月(第3回)

【審査・検査制度のあり方】

- ・審査側実務の実態や海外の仕組みを踏まえ、行政庁と指定機関の役割分担、審査困難分野での対応等基準適合性確保の仕組みのあり方に係る論点を整理

※第3回目以降の開催日程に関しては改めて調整の上決定予定

7月(第4回)

【使用段階品質管理、建築(職能)教育のあり方】

- ・定期報告、違反是正、事故対策、学校教育、職能教育等の実態を踏まえ、ストックの適正な維持保全や担い手育成に向けた関係主体の役割、関連制度のあり方を整理

9月(第5回)

【設計・生産システムのあり方】

- ・設計、施工、工場生産の際の品質管理の実態を踏まえ、質の確保向上に向けた関係主体の役割・責務等を整理

11月(第6回)

【技術基準体系のあり方】

- ・日本の基準体系の現状、性能規定化に係る国際動向等を踏まえ、新技術の導入等が円滑化される基準体系のあり方を整理

H24年1月(第7回)

【論点整理】

- ・建築生産システム全体を巡る現状と課題を踏まえた建築法体系の今後の方向性に係る論点整理